

発達障害

～追体験ということ～

2009.6.7(Sun) 家族教室

ハートクリニック横浜

柏 淳

精神科医はいかに初診診察を行っているか。

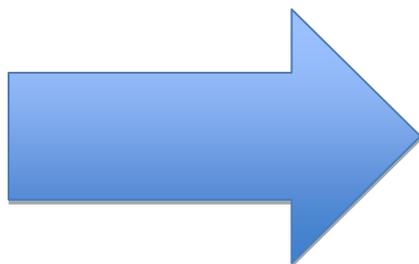
医師はいかに初診診察を行っているか。

電器屋さんはいかに修理を行っているか。

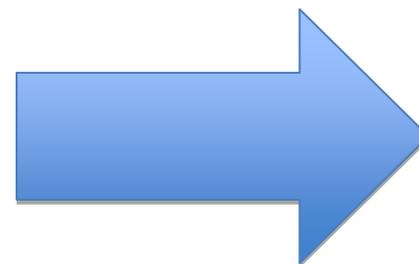


故障

電器屋さんはいかに修理を行っているか。



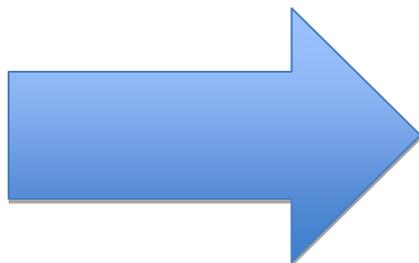
入力



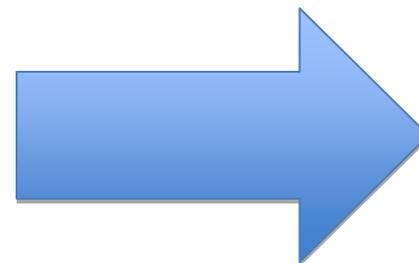
出力

故障

医師はいかに初診診察を行っているか。



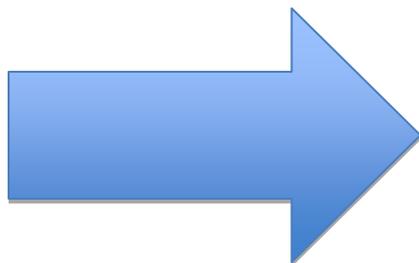
入力



出力

故障

医師はいかに初診診察を行っているか。

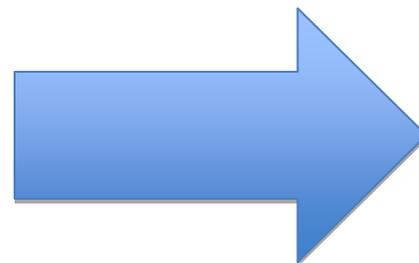


入力

負荷検査
造影検査



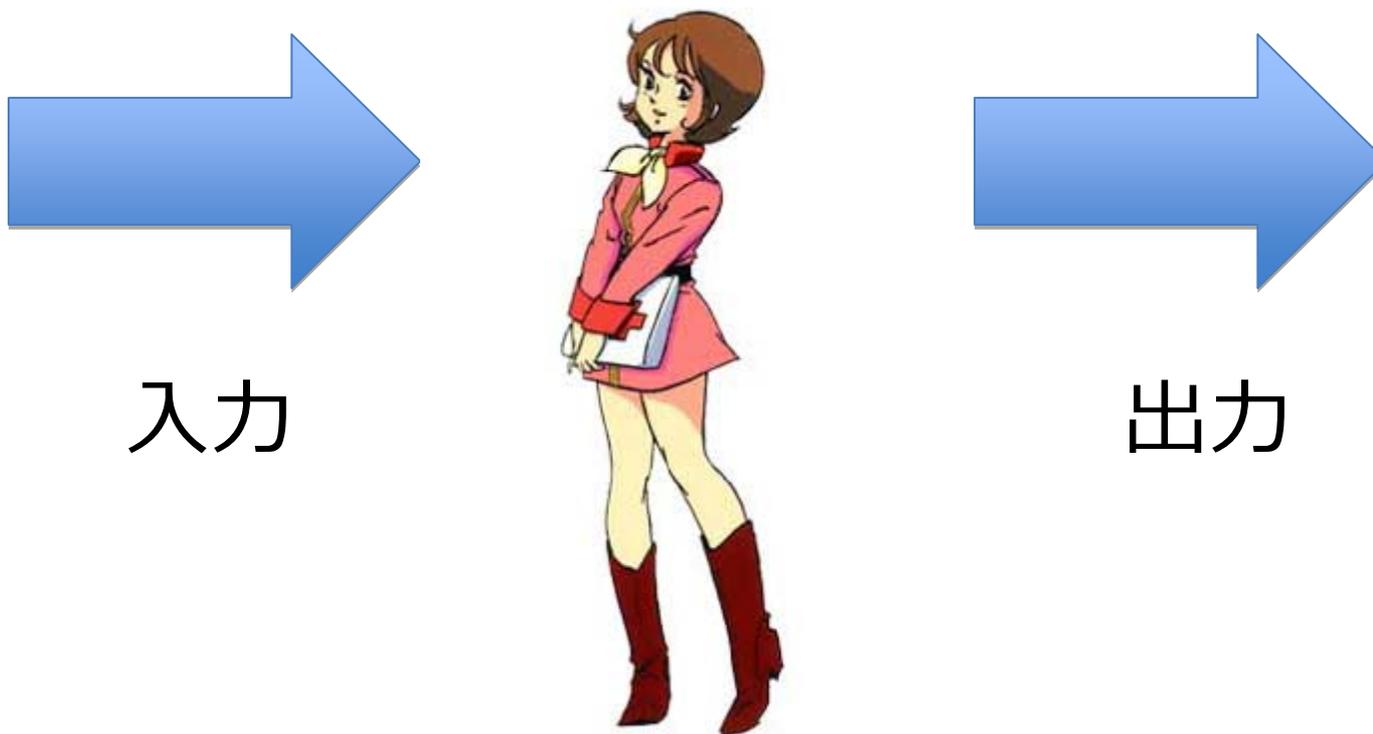
病気（疾患）



出力

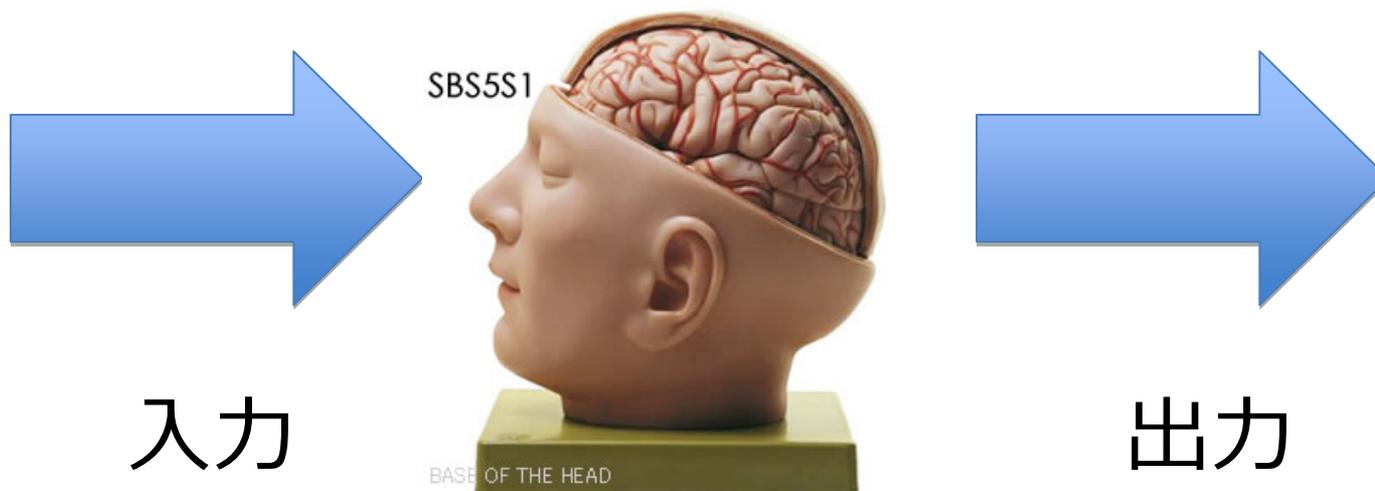
問診
打聴診
検査結果

精神科医はいかに初診診察を行っているか。



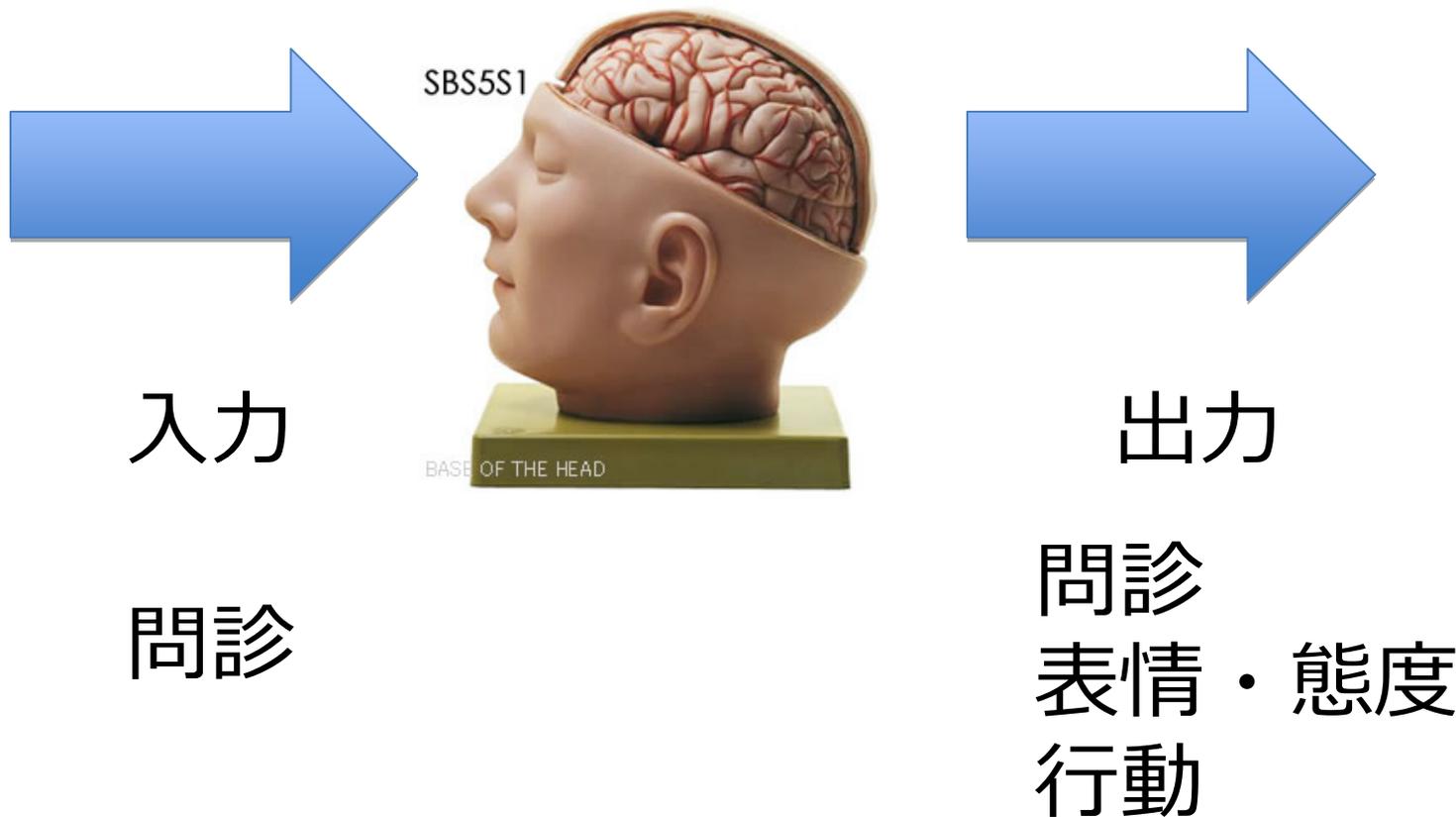
精神疾患「故障した脳」

精神科医はいかに初診診察を行っているか。



精神疾患「故障した脳」

精神科医はいかに初診診察を行っているか。



精神疾患「故障した脳」

主観と客観

主観の側にまわりこむこと。
いかに患者さんの内的体験を追体験するか？

- ・ 共感すること = 苦しみを理解する努力
- ・ 診断、治療方針の策定

本日のハイライト！

病的体験の追体験・理解を試みよう

- うつ病
- 不安障害
（全般性不安障害、パニック障害）
- 統合失調症
- 発達障害（アスペルガー障害）

うつ病の追体験

うつ病の本質 = エネルギーの低下

DSM-IV 大うつ病性エピソードの診断基準 A 項目

- 1 抑うつ気分
- 2 興味、喜びの喪失
- 3 体重減少（増加）、食欲の減退（増加）
- 4 不眠（過眠）
- 5 精神運動性焦燥、制止
- 6 易疲労性、気力の減退
- 7 無価値感、過剰か不適切な罪責感
- 8 思考力・集中力減退、決断困難
- 9 自殺念慮、自殺企図

DSM-IV 大うつ病性エピソードの診断基準 A 項目

- 1 抑うつ気分
- 2 興味、喜びの喪失
- 3 体重減少（増加）、食欲の減退（増加）
- 4 不眠（過眠）
- 5 精神運動性焦燥、制止
- 6 易疲労性、気力の減退
- 7 無価値感、過剰か不適切な罪責感
- 8 思考力・集中力減退、決断困難
- 9 自殺念慮、自殺企図

DSM-IV 大うつ病性エピソードの診断基準 A 項目

- 1 抑うつ気分
- 2 興味、喜びの喪失
- 3 体重減少（増加）、食欲の減退（増加）
- 4 不眠（過眠）
- 5 精神運動性焦燥、制止
- 6 易疲労性、気力の減退
- 7 無価値感、過剰か不適切な罪責感
- 8 思考力・集中力減退、決断困難
- 9 自殺念慮、自殺企図

うつ病のイメージ

体がだるい、重い（鎧を着ているようなもの）
頭が働かない（頭の回転がスローモーション）
ぼうっとしている、決められない
気分が落ち込んでいる、沈んでいる
何を考えても悪い方へ考える
本来楽しめることをやっても楽しめない
自分に価値がないと感じる
生きているとみんなに迷惑をかけている
死んでしまいたい、消えてしまいたい

うつ病のイメージ

体がだるい、重い（鎧を着ているようなもの）



うつ病のイメージ

体がだるい、重い（鎧を着ているようなもの）
頭が働かない（頭の回転がスローモーション）
ぼうっとしている、決められない
気分が落ち込んでいる、沈んでいる
何を考えても悪い方へ考える
本来楽しめることをやっても楽しめない
自分に価値がないと感じる
生きているとみんなに迷惑をかけている
死んでしまいたい、消えてしまいたい

追体験をふまえた、うつ病の方への対応の工夫

体がだるい、重い

→対応：安静。物理的負担を減らしてあげる。

頭が働かない

→対応：こちらもゆっくり話す。

本来楽しめることをやっても楽しめない

→対応：無理に誘い出さない。

不安障害のイメージ

うつと不安って何が違うの？

不安

不安障害のイメージ

うつ： エネルギーの低下
不安： 過度の緊張状態

不安障害のイメージ

うつ： エネルギーの低下
不安： 過度の緊張状態



不安障害のイメージ

不安： 過度の緊張状態

全般性不安障害： 杞憂

パニック障害： 火災報知器の誤作動

全般性不安障害：すべてこわくてたまらない！

パニック障害　：死にそうな恐怖感

基本的対応は、安全であることの保障
「パニック発作で死んだ人はいません」

統合失調症の追体験

気分障害、不安障害と比べると
精神病性障害の追体験は困難が大きい。

了解困難性（思考障害が中核にある）

今回はバーチャルテクノロジーによる
「幻聴」の追体験をしてみましよう。

お待たせしました。いよいよ、発達障害の話になります。

発達障害とは？

- ・ 広汎性発達障害
 - 含・アスペルガー障害
- ・ 注意欠陥・多動性障害
- ・ 学習障害
- ・ その他の発達障害

広汎性発達障害

自閉症（自閉性障害）

アスペルガー障害

cf. 特定不能の広汎性発達障害

広汎性発達障害

自閉症（自閉性障害）

アスペルガー障害

cf. 特定不能の広汎性発達障害

今日は、アスペルガー障害の追体験を試みましょう

自閉症（自閉性障害）

「三つ組」の障害（特性）

- ①社会性の障害
- ②コミュニケーションの質的障害
- ③想像力の障害

「三つ組」の障害を持つ者のうち、言葉の遅れや知的障害を認めないものを、アスペルガー障害と呼ぶ。

アスペルガー障害における「三つ組」の障害

①社会性の障害

KY

「三つ組」の障害

①社会性の障害

KY

空気読めない

とはいったいどういうことか？

「空気をよむ」ために必要なこと

相手の「気持ち」を察知する能力が「共感性」

その場の皆の「気持ち」の動きを察知する能力が
「空気を読む力」

「気持ち」：自分を相手の立場に置き換えて考えないと理解できない。

アスペルガー障害の人は、
「自分を相手の立場に置き換える」ことが苦手。
(アスペルガー障害の本質)

ミラーニューロンの障害という仮説あり。

自閉症の子どもの特徴（1）

視線が合わない



自閉症の子どもの特徴（2）

お地蔵さんを抱いているよう



「三つ組」の障害

①社会性の障害

“人の中で浮いてしまうことが多い”

“空気が読めない”（あわせる意識が乏しい）

- 家族や周囲の様子を見て協調することができない
周囲がどう思おうと関係なく行動する
- 場の雰囲気を感じ取れず場にそぐわない事をする
- 成長しても社会常識やマナーが身につきにくい
- 友達ができない、作ろうとも思わない
- 感情表現のタイミングがずれる

②コミュニケーションの質的障害

“ことばのキャッチボールができない”

- 会話が一方通行。好きなことだけ話し続ける
- 会話の内容をよく理解できない
言葉から相手の意図を読み取る力が弱い
- 会話がパターン化、型どおりのセリフで返答する
- 話し方がぎこちない、丁寧語、学者のよう
- 慣用句やたとえ話などがわからない
字義通りにとる、大げさな表現を真に受ける
- 独特の言い回し、自作の言葉、不自然な発音
- ノンバーバルコミュニケーションができない
表情変化、身振り手振りの意味をとれない
- 言葉の遅れはない

「三つ組」の障害

③想像力の障害

“違いのわかる男（女）”

「三つ組」の障害

③想像力の障害

“こだわりのある男（女）”

「三つ組」の障害

③想像力の障害

“融通のきかない男（女）”

- 興味の偏りが大きく、それ以外意識に入らない
- 生活パターンを守りたがる
毎日同じ時間に同じ場所で同じことをしたがる
- 予定外、でパニックをおこす
例外や間違いを許せない
- 気持ちの切り替えが下手
- 頭の中で予定を整理したり、先を予測したりできない（見通しを立てられない）

アスペルガー障害のその他の特徴

- 選択的注意ができない
騒音の中で声をききわけることができない
- 感覚の独特な鋭敏さ
- 概念化が苦手：「木を見て森を見ず」
細部に拘ってしまい全体を見られない
- 人の顔が覚えられない、表情を読み取れない
- 並列処理が苦手：同時に二つのことができない

まとめ：

アスペルガー障害の人とはどういう人か？

①社会性の障害

“空気が読めない”

②コミュニケーションの質的障害

“ことばのキャッチボールができない”

③想像力の障害

“融通がきかない”

①社会性の障害 “空気が読めない”

対応：

- ・ ソーシャルスキルの不足を理解、把握する
- ・ 対話のサポート
- ・ 対人交渉などが必要な仕事は避ける
- ・ 一人で過ごす時間を尊重する

②コミュニケーションの質的障害

“ことばのキャッチボールができない”

対応：

- ・ 視覚的手がかりを提示して、わかりやすい環境を作る
- ・ メモを作って渡すなど、指示の仕方を工夫する

③想像力の障害 “融通がきかない”

対応：

- ・ 個性として受けとめる
- ・ 「違いのわかる男（女）」の良い面を
いかに生かすかを考える

追体験ということ

一番つらいのは、患者さんご本人です。

追体験は、そのご本人のつらさに共感するとともに、対応・治療を考える上でご家族や周囲の方々・治療者のいずれにとっても大切なことと考えます。

参考文献：

DSM-IV-TR精神疾患の分類と診断の手引 高橋三郎他訳、医学書院

統合失調症の治療—理解・援助・予防の新たな視点 原田誠一 金剛出版

児童期精神障害 上島国利監修 メディカルビュー社

思春期のアスペルガー障害 佐々木正美監修 講談社

大人のアスペルガー障害 佐々木正美・梅永雄二監修 講談社

大人のアスペルガー障害との接し方 加藤進昌著 講談社